

第586回茨城県内水面漁場管理委員会 議事録

日 時	令和3年2月19日（金） 午後2時から
場 所	水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階 共用会議室A
議 題	第1号議案 久慈川支流里川における水産動物採捕の禁止区域・期間について（委員会指示） 第2号議案 令和3年度目標増殖量について（委員会公示） 報告事項 （1）アユ流下仔魚調査の結果について その他
出席委員	1番 高杉 則行 2番 小林 益三 3番 水野 恵美子 5番 坂本 勉 6番 八角 直道 7番 鈴木 好三 10番 星井 晴美 11番 堤 隆雄
欠席委員	8番 高津 武弘 12番 多田 悦章
県側出席者	農林水産部次長兼漁政課長 益子 知樹 " 漁政課課長補佐 小曾戸 誠 " 主任 松井 俊幸 " 水産振興課主査 矢口 登希子 水産試験場内水面支場技佐兼支場長 谷村 明俊 " 技師 外山 太一郎
事務局	事務局長 庄司 邦男 副主査 細金 正勇 主 任 山下 郁美
議事録署名人	3番 水野 恵美子 5番 坂本 勉
議長	1番 高杉 則行
会議内容	開会 午後2時

庄司事務局長

〔開会宣言〕

〔資料確認後、高杉会長に挨拶を依頼〕

高杉会長

どうも皆さんこんにちは。本日は、内水面漁場管理委員会を開催しましたところ、お忙しい中、出席をいただきましてありがとうございます。

昨日の太子の朝の気温はマイナス7度でした。今日は、いくらか暖かい陽気ですが、週末に20度を超すという予報が出ています。非常に寒暖差が大きいので、委員の皆さんもどうか体調管理に気を付けてお過ごしください。

今日の内水面漁場管理委員会の議題でございますが、毎年出ております、久慈川支流里川における採捕の禁止についてと、目標増殖量についてでございます。

2つ目の目標増殖量については、本来ですと、2月上旬に土浦と水戸で各漁業協同組合の代表者が集まって、そこで協議を行う予定でした。しかし、皆さんご存知のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、茨城県にも緊急事態宣言が発令されました。そんな関係で、事務局が各漁協に問い合わせ、目標増殖量についてまとめた資料がございます。

各漁協とも、組合員が高齢化により年々減少しており、日釣り券等についても、東日本大震災以降、相変わらず右肩下がり収入が上がりません。台所事情が非常に苦しいといった事情がございまして、いくつかの漁協で、放流量を若干減らしてほしいとの要望がございます。それについては事務局から提案させていただきます。

本日は、審議が2つございます。よろしく願いいたします。

庄司事務局長

ありがとうございました。

会議規程第4条第1項によりまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、会長に議事の進行をお願いいたします。

高杉議長

それでは、議事に入ります。

事務局から出席委員の報告をお願いいたします。

庄司事務局長

はい。現委員10名のうち、本日の出席委員は8名、欠席委員は2名でございます。欠席委員は、高津委員と多田委員でございます。

漁業法第145条第1項で規定しております過半数の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

高杉議長

はい、ありがとうございました。次に、議事録署名人の選出ですが、会議規程第7条第2号の規定に基づき、私の方から指名させていただきます。

水野委員、坂本委員にそれぞれ議事録署名人をお願いいたします。

高杉議長

それでは、議題に入ります。

まず、第1号議案「久慈川支流里川における水産動物採捕の禁止区域・期間について」の委員会指示ですが、事務局から説明願います。

山下主任 (資料1により説明)

高杉議長 はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたら、お願いいたします。

高杉議長 新しい委員の方は初めてかと思いますが、旧委員の方は（平成29年5月17日の現地調査）中の沢まで行っていますよね。

(委員) (特になし)

高杉議長 それでは、特にご意見がないようですので、説明のとおり委員会指示を発動してよろしいでしょうか。

(委員) (「はい」の声)

高杉議長 それでは、説明のとおり委員会指示を発動することに決定いたします。

高杉議長 次に、第2号議案「令和3年度目標増殖量について」の委員会公示ですが、漁政課、事務局から説明願います。

松井主任 (資料2-1により説明)

山下主任 (資料2-2により説明)

高杉議長 はい、ありがとうございました。ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

(委員) (特になし)

6番 八角委員 よろしいでしょうか。

高杉議長 はい。

6番 八角委員 今年の遊漁の販売状況をお話しして、今年度それから来年度の各組合からの数字の妥当性でしょうか、それを理解していただけたらと思います。

年度当初に遊漁券と雑漁券を含めて渡しているのですが、釣り人が増えたので、後から遊漁券が欲しいと言ってきたのは大北川漁協さんだけでした。他の

組合さんは、軒並みあまり販売状況がよくありませんでした。

結果的に、鬼怒小貝漁協さんも、ふなの放流量を減らしたいとの話でしたが、状況としては、大北川漁協さん1漁協さんだけがいいということをご理解いただければと思います。

高杉議長

大北川漁協さんは特別な取り組みをされてるんですか。

6番 八角委員

コロナの影響で遊漁者が減っているとのことだったんですけども、大北川漁協さんだけは、遊漁者がたくさん来られました。漁協さんの話だと、あゆ、やまふなの時期ですかね、水沼ダムの上流で増えたので（遊漁）券が欲しいと言っていました。

高杉議長

確か、水沼ダムも視察（平成30年5月23日の現地調査）に行きましたよね。そこの釣り客が増えているということですね。その他は、残念ながら軒並み収入が落ちているとの説明でした。

高杉議長

その他、ございませんか。

3番 水野委員

はい。

高杉議長

水野委員、どうぞ。

3番 水野委員

単純なんですけど、久慈川もそうなんですけれども、やまめの稚魚と成魚だと、成魚の方が結構量が多くて、稚魚の方が少ないですが、成長段階からしても、成魚の方が生育がいいからなのか、この差はなんなんだろうと思って、気になったんですけども。

高杉議長

これは、単位が違うんですよね。やまめの成魚はキロで稚魚は尾数でやっています。

6番 八角委員

数の違いをおっしゃっているようです。やまめの稚魚が5万6千尾から4万に減っていて、成魚が変わっていない。

高杉議長

久慈川では、どこか削ることを考えた末、稚魚というのは、他の魚に捕食されたりして、減耗してしまうんです。稚魚を放流しても、それが全部生存するかというと、心もとないんです。他のうぐいなど大きな魚の餌になってしまうので、稚魚を削るしかないだろうと考えました。

また、増殖を図るのに、放流ではなく産卵場造成に軸足を移していく、そんな取り組みを水産試験場の指導の下にやっています。これは台所事情が苦しいので、皆さんそのように数字を減らしたということです。

3番 水野委員 ありがとうございます。

高杉議長 その他ございませんか。

(委員) (特になし)

高杉議長 特に意見もないようですので、説明のとおり委員会公示をしてよろしいでしょうか。

(委員) (「はい」の声)

高杉議長 ありがとうございます。それでは、説明のとおり委員会公示をすることに決定いたします。

高杉議長 次に、報告事項に移ります。
「アユ流下仔魚調査の結果について」、水産試験場内水面支場から説明願います。

外山技師 (資料3 (プロジェクター) により説明)

高杉議長 はい、ありがとうございます。ただ今の説明に関しまして、ご質問等ありましたらお願いします。

高杉議長 八角委員、どうぞ。

6番 八角委員 ネットの口径は、45センチですか。

外山技師 そうですね。50センチ弱です。

6番 八角委員 曳網時間は5分間で、それを2時間に1回。

外山技師 はい。そうです。

6番 八角委員 夕方の4時から、朝まで。

外山技師 夕方の6時から、朝の6時までです。

6番 八角委員 そういう調査なんですね。
すみません、もう一ついいですか。これは最終的な評価というのは、数量的

な関係がなかなか難しいんですけれども、この流下稚魚調査の評価をすると、夏の稚魚の遡上との関係は、例えば正の相関とか、全く関係がないとか、そういったのは出ているのでしょうか。

外山技師

流下仔魚と遡上の量の関係についてなんですけれども、関係はほとんど見られません。

というのも、川で生まれて海へ下って生活して、これから上る訳ですけども、あゆの仔魚の生き残りは、ほとんど海での生活に係っているもので、極端なことを言いますと、とてもたくさん流れてきても、海が寒いとか、餌がないとか、そのようなことで減ってしまったり、仔魚が少なくても、海の条件がすごく良くてたくさん上ってくる、どちらもあります。

6番 八角委員

そういうことなんですね。分かりました。

高杉議長

この調査は毎日やる訳ではないので、流下仔魚も遡上調査も1週間に2回かな。

外山技師

月に2回ですね。

高杉議長

その間にすり抜けて遡上する稚魚もあったりして、正確な数字は難しいかもしれないですが、大まかな遡上数は、長年のデータを取っていけば、今、外山さんが説明したような数字になるのではないかと思います。

ちなみに、このグラフで一番赤くなっている平成26年、この年は確か、事務局に確認したら、震災以前ほどではないですが、日釣り券の売り上げが伸びて、(完売して)なくなった珍しい年でしたね。なので、まるっきり信用できない調査ではないという気がしますね。

たくさん流下仔魚がいれば、その翌春はたくさん稚あゆが遡上してくるかは、外山さんが言ったように、海水温や海での生存状況が関係してしまうので、非常に難しいですよ。

外山技師

そうですね。ただ、流下仔魚と遡上が正の相関関係にないといっても、全く仔魚が下りてこない、よろしくないことですので、流下仔魚の量を見ていくことは大事なことで捉えて調査を実施しております。

高杉議長

大変な作業だと思います。流下仔魚調査は、夜寝ないで2時間おきに調査をしていますのでね。

高杉議長

どうぞ、鈴木委員。

7番 鈴木委員

あゆの遡上なんですけど、どのような方法で数を把握するんですか。

外山技師

最後のスライドに少しあるんですけども、那珂川の千代橋と久慈川の堅磐堰、それぞれ河口から30kmくらいと10kmくらいなんですが、こちらで週一回投網を何投かしまして、それで採れたあゆの数を投網10投あたりの数に換算しまして、期間中に多い少ないというデータを調べております。

7番 鈴木委員

私はあゆ釣りをやるんですけど、2月から6月が遡上とありますが、5月頃になると、田んぼに水が引かれちゃって大子まで遡上するあゆがほとんどいないんですよ。

だから、その堰の辺りの投網で何匹採れたという数字がありますが、大子まで上がってきてないんですよ。その頃になると漁協でも、成魚の養殖あゆを放すもので、上がってきたあゆが成魚に負けちゃって、みんな住みやすい石から飛ばされちゃうんだよね。そうすると、釣れる天然あゆがみんな小さいんですよ。

あとは、環境の問題なんですよ。5月は（田植えの）最盛期で、（久慈川流域で）使う農薬によって、ほとんど死んじゃうんじゃないかを感じるんですよ。この前もテレビを見たら、四万十川では農家の人が田植えをする際、ヘドロを流さないように、（水深）10cmくらいしか水を張らないそうなんですよ。直接川へ流さないで、土手を通して流すようにして、あゆを保護するという（取り組みをしているそうです）。

私の釣り仲間がいるんですけども、その人が言うには、あゆがうぐいに食べられるのは問題ではないと言うんです。どういうことか聞いたら、うなぎ、どじょう、ふなといないのは、農薬のせいで魚がいらないんだと（言っている）。私は、昭和36年からずっとあゆ釣りをやってきたものですから、言われてみると、やまべはいない、うなぎはいない、雑魚もいない。それは全部食べられたのかというと、そうじゃないですよ。

また、浄化槽の問題もあるんですよ。栄養豊富な下水が流れて、全部青ノロが張って、生息場所が少なくなっているんですよ。

あとは、森林。木を現場から出すために、ユンボ（ショベルカー）で全部削ってしまうから、ちょこっとした雨でも全部ヘドロが流れてしまう。それで、ほとんど川が泥で埋め尽くされちゃうんですよ。久慈川も、昨日一昨日ですか、大子で23ミリの雨が降って、今でも濁ってるんですよ。昔は、あのぐらいの雨で水が濁った試しがないんだけど、今は濁っている。あゆ釣りを始めて50年近く経ちますけれども、去年も釣れないんです。全部ヘドロが付いているんです。川に流れてきた泥で、生息場所がないんですよ。成魚の養殖あゆはいるけど、あとは、あゆがどこにもいないんですよ。

10月1日から一週間禁漁をやってるんですが、すると縄張りが始まるんですよ。昔の縄張りとは違うんですよ。私が小さいころ教わった縄張りというのは、木の杭を打って、下に笹を沈めて、笹は水にぬれるとぴかぴか光るんですよ。鳥が飛んできたような状態になるから下れない。あと、縄を張るんですよ。

それをたるませると、水がぱちゃんぱちゃんとして下りられない。今は、竹で完全に塞いじゃってね。

これだけ河川がありますが、あゆ釣りは条件のいい場所でないと釣りにならないですよ。環境問題で、農薬や家庭で使う洗剤などの影響はものすごいですよね。

確かに流下の数字は分かるけれども、遡上するのは分からない。山方と辰ノ口の堰、必ず（あゆが）います。そこを上れないもので、昔は、木の堰でみんな水を分け合ったんですよ。そこからぴょんぴょん飛び上がっていた。今は耕地整備で、田んぼも畑も水路がカチツとして、そっちへ水が行っちゃう。いざ上ろうとすると、魚道がありますと言っても、100mだったら10m作ったならば、10分の1の遡上しかないですよ。そこを今後考えて…

高杉議長

鈴木委員、いいですか。十分分かります。何というか、独演会になってしまいますので…

農薬の問題、私も釣り人の方とお付き合いありますので、雑誌も読みました。大子は、残念ながらお茶とりんごの消毒の薬が強いらしいですよ。そんなこともあって川に流れると、当然、今鈴木委員がおっしゃられた洗剤とか、浄化槽から流れる水とか、魚にとってはあまりよくない。

だから、環境問題をいろいろ考えることも必要だという警鐘を鳴らしていたかったです。ただ、どうしようもないと言っているも前へ進まないの、それをどうしたらいいかを議論していかなくてはならないでしょうね。

高杉議長

その他ございませんか。八角委員どうぞ。

6番 八角委員

今のお話は、やはり大変大きな問題で、漁場管理の話をする中で基本の問題なんですよ。

泥の問題というのは、福島県さんと昔話があって、議論をしているんですね。また、この間久慈川の上流をずっと（福島県）棚倉まで行って来たんですけど、やはり上流の漁協さんと魚の移動の話もして、あゆが大子までいなくなってしまうときに、そのあゆはどこにいるんだろう。秋になると、縄張り漁でどっと採れるわけですよ。では、大子にいなかった夏の間は、どこにいるんだろうと、そういう話はきちんと情報交換できるような形を考えていかなくてはいけないなど。今、内漁連の専務でもありますので、久慈川は上流との関係もきちんと考えていかなくてはならないと思っています。

その中で、農薬の問題とか、いろんな情報交換できると思うので、そういったところから進めていかないと、急にこんな問題が起きたからどうしようかと言っても、議論にならないと思うので、下地作りから、会長の方からもお話があったように、当分の間は、今の条件の中でできることをやっていかざるを得ない、ということをご理解をいただければと思います。

7番 鈴木委員

分かりました。

高杉議長

福島県の久慈川第一漁協とは友好的な関係を築いています。今八角委員から出た土砂の問題は、鮫川村の放牧場なんですよ。鈴木委員がおっしゃられたように、放牧場では何年に一回か全部草を刈っちゃうんですよね。それから草を植える、第三セクターでそういう運営をしていたんでしょうけれども、あまり牛では儲からないということで手を下げちゃって、牛を飼う人がいなくなって、丸裸にしたままの状態になってしまったこともありますし、棚倉に行くと採石場がたくさんあるんですよ。採石場の細かい砂みたいなものを雨が降る度に支流から本流の久慈川に流れてくるということもあって、そのときに久慈川第一漁協と福島県知事と一緒に行動したんですよ。久慈川第一漁協の佐川組合長とは連絡を取りあったり、今はコロナの影響でほとんど全国会議がないですけども、連絡する気になればいつでも連絡を取れるので、いつでも手を取り合う準備はできると思います。

八角委員にフォローしていただきましたが、これは非常に大きな問題で、これから子や孫の代まで久慈川の清流や自然を残していかなければならないという責任はあるかもしれませんね。

高杉議長

その他なければ次へ進んでよろしいでしょうか。

(委員)

(特になし)

高杉議長

その他委員の皆様から何かございませんか。

(委員)

(特になし)

高杉議長

次長どうぞ。

益子次長

漁政課長の益子でございます。前回12月24日にこの21期の初会議が行われまして、実質的には、今日が初のご審議ということになりましたけれども、新しい委員さんが入られて、またこれから活発な議論がされていくのかなと大いに期待をさせていただきました。

実は、この内水面漁場管理委員会、3月は予定がないということで、今年度は本日が最後となります。私、それから庄司局長もそうなんですけれども、今年度末で定年を迎えまして、まだ3月末まで若干時間はございますが、最後にお礼のあいさつをさせていただければと思います、手を挙げました。

本日の議論にもありましたように、内水面の漁場問題というのは、たくさんの課題がございます、非常に心残りではございますけれども、後任のものにそこをしっかりと引き継いで対応していきたいと思っております。

委員の皆様のご今後のご活躍とご健勝をお祈り申し上げて、私のごあいさつと

させていただきます。

新任期とちょうど入れ替わりとなってしまい、短い期間ではありましたが、ありがとうございます。

庄司事務局長

私も3年間、事務局長を務めさせていただきました。至らぬ点がございましたが、皆様にご指導いただきまして、この3年間委員会を運営することができました。大変ありがとうございました。

高杉議長

大変お疲れさまでございました。

次に、次回の委員会について事務局から説明をお願いいたします。

庄司事務局長

はい。先ほど、次長からも話がありましたが、今年度の委員会は本日が最後でございます。

来年度の委員会は、4月または5月に開催を予定しております。詳細につきましては、追って、文書でご連絡したいと思います。

以上でございます。

高杉議長

はい、ありがとうございました。

それでは、本日の議事はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。

閉会 午後3時10分